



年齢  
0+

---

031102021

---

「Better World～  
よりよい世界へ」  
の組み立て説明書



Build  
THE Change

# 大人の皆さんへ

お手紙を読んでくださってありがとうございます。

みんな、大人が忙しい毎日を過ごし、大切な用事をしていることを知っています。時間は大切。これもみんなが知っていることです。でも、わたしたちの「未来」の時間や、大人のみなさんから受け継ぐ地球もまた大切です。だから、少しだけ時間をさいて、わたしたちのアイデアを聞いてください。わたしたち子どもにも、地球や未来に影響する大きな決断に参加し、意見するチャンスをください。未来をより良く変えていく「チェンジメーカー」の仲間として、また、インスピレーションやイノベーションの源として見てくれたらうれしいです。

自慢するわけではないけれど、世界の生物多様性がなくなっていくことへの対策、北極の氷がとけてしまわないようにすること、世界のゴミ問題の解決などについて、わたしたちにも、とてもいいアイデアがあります。地球を守るためのアイデアなら、無限大です。

大人の目から見れば、現実的じゃないものもあると思います。でも中には、科学者・政治家・建築家・都市計画プランナーなどの専門家が大きな気候変動に適応し、その悪影響をやわらげる方法を考えるときに、役立つアイデアがあるかもしれません。

世界中にちらばる6,000人以上の子どもたちが、この冊子\*の10種類の組み立て説明にアイデアを寄せています。わたしたちにとって、とても大切なことばかりですが、大人のみなさんの行動がなければ、意味がありません。

今、何かをする力があるのは大人ですが、未来はわたしたちのものです。\*\*

行動してください。

わたしたちも仲間に入れてください。

\* ここに掲載する10種類の組み立て説明は、「地球を守り、より良くするために、世界のリーダーたちにしてほしいことは何ですか?」という質問への子どもたちの回答トップ10に入った項目です。このアンケートは、2021年に世界7カ国でレゴグループが実施しました。

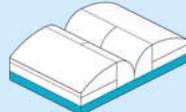
組み立て説明のページに掲載している子どもたちの声は、2021年に世界各国で実施したアンケートやワークショップでえた回答からの引用です。

\*\* 「子どもの首都」デンマーク・ビルンで開催された「Children's General Assembly 2021(2021年子ども総会)」にて、世界のリーダーたちに向けた子どもたちのマニフェストからの引用です。



# 「Better World～よりよい世界へ」の組み立て説明書



- |  |  |  |  |   |
|--|--|--|--|---|
| 1<br> | 2<br> | 3<br> | 4<br> | 5<br>  |
| 環境汚染とゴミを減らす。   | 自然を守る。   | 法律を変える。  | 問題を放置せず、行動する。  | 人々を教育する。  |
| 6<br> | 7<br> | 8<br> | 9<br>  | 10<br> |
| 排出量を減らす。   | 国際協力をする。   | リーダーが率先して行動を変える。   | 環境に投資する。   | 人を助けて次世代を守る。  |

**Build  
THE Change**

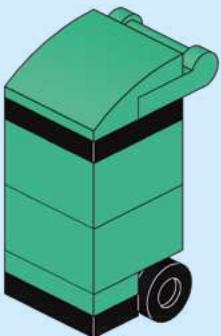




「工場から出る、環境に悪いものを減らす」

「毎日リサイクルして、周りの人にも同じようにリサイクルしてもらえる  
ようにお願いする」

「1回しか使わないプラスチックの代わりに、リサイクル材料から水のボトルをつくる」

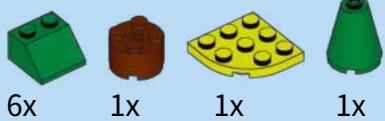
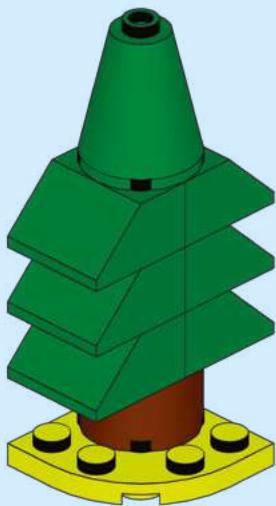


## 環境汚染と ゴミを減らす。



「世界の子どもの90%が毎日有害な空気を吸っています」

- UNICEF, The Climate Crisis is a Child Rights Crisis  
(気候危機は子どもの権利の危機) (2021年)、p.50



「熱帯雨林の木を伐るのを法律で禁止する」

「すべての国で、一定の割合の土地を自然環境のままにすることに決める」

「絶滅しそうな野生動植物を守るために、もっと自然保護区をつくる」

自然を守る。

世界各地で生物多様性が低下すれば、子どもたちの健康状態の悪化にもつながります。

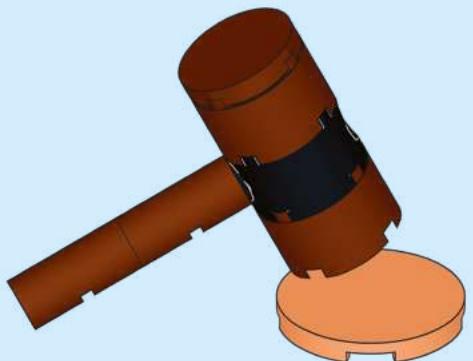
- UNICEF, Why Biodiversity is Important for Children  
(子どもたちにとって生物多様性が大切な理由) (2020年)



「環境汚染する人に罰金をかける」

「10km以内の距離なら、車ではなく自転車で行く法律をつくる」

「二酸化炭素排出のルールを厳しくして、太陽光発電や風力発電などのクリーンな電力をもっと使いやすくする」

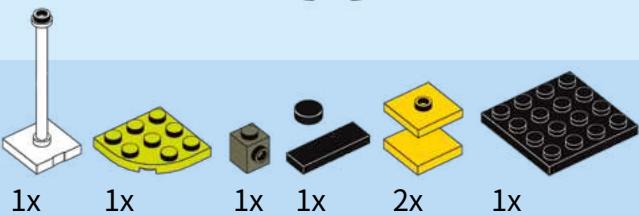
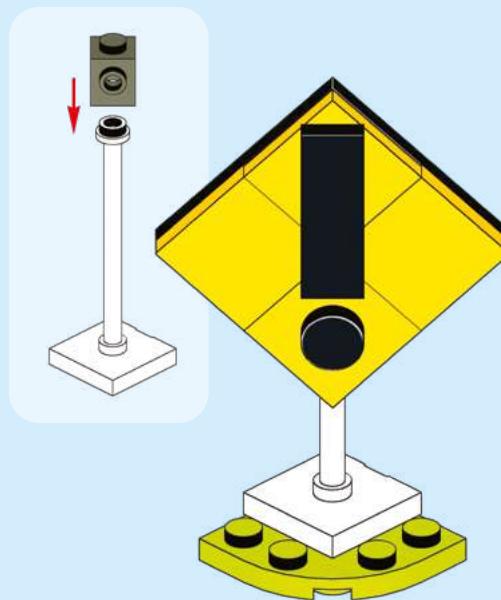


## 法律を変える。



子どもたちの利益と権利を最優先し、気候変動による有害な影響から守る「子どもにやさしい気候変動政策」には、高い目標と緊急性が必要とされています。

- UNICEF, Are climate change policies child-sensitive?  
(気候変動政策は子どもたちにやさしい?) (2020年)、p.5



「すぐに行動する。話ばかりしたり、誰かのせいにしたりしない。もう時間はない」

「とにかくやる!おしゃべりばかりじゃだめ!」

「気候変動の現実に目を向ける。明日ではなく、今行動する」

問題を放置せず、  
行動する。

ハイリスクな国では、クリーンエネルギーの開発・生産・研究に必要な資金が不足しています。

- UNICEF, The Climate Crisis is a Child Rights Crisis  
(気候危機は子どもの権利の危機) (2021年)、p.96



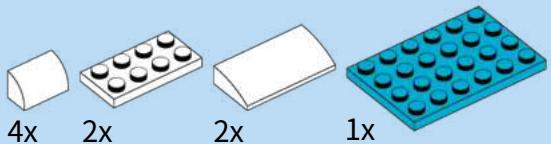
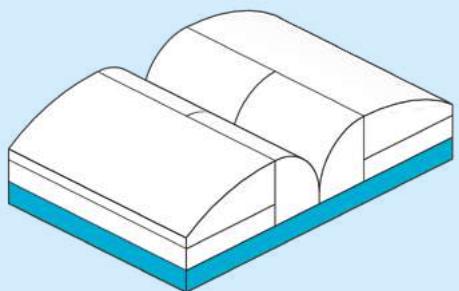
「子どもたちが参加できるプログラムをもっとつくりほしい」

「学校の必修科目として気候の授業が必要」

「環境問題を学校で話し合う課題にしてほしい」

”

## 人々を教育する。



「子どもたちが気候変動に適応し、その影響に備えられるよう、気候に関する教育とエコな行動スキルを身に付けさせることが必要です」

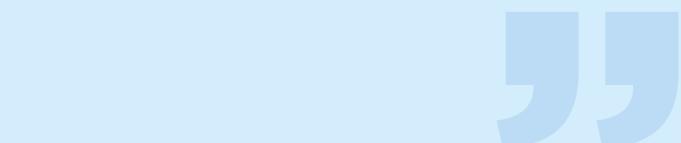
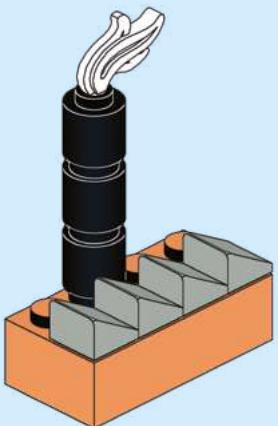
- UNICEF, The Climate Crisis is a Child Rights Crisis  
(気候危機は子どもの権利の危機) (2021年)、p.120



「工場の屋上に植物を植えて、排出するCO<sub>2</sub>を吸収してもらう」

「大都市の中心部では、どうしても必要な仕事の車以外は通行禁止にする」

「電気自動車を安くして、たくさん的人が買えるようにする」

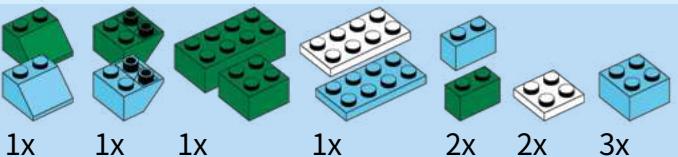
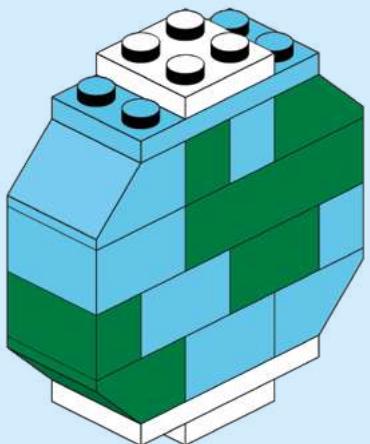


## 排出量を減らす。



温暖化を1.5°C以内に収めるには、各国で2030年までにCO<sub>2</sub>排出量を2010年比で45%以上削減することが必要です。

- UNICEF, The Climate Crisis is a Child Rights Crisis  
(気候危機は子どもの権利の危機) (2021年)、p.119



「…競争するのではなく協力する…」

「…発展している国もそうでない国も、すべての国で実行できる解決法をみつける」

「…みんな集まって力を合わせて地球を救わなきゃ！」

”

## 国際協力をする。

「国際協力の強化と、地域に密着した対策によって、地球環境を守ることができます」

- IPBES, Global Assessment Report on Biodiversity and Ecosystem Services (生物多様性と生態系サービスに関する地球規模評価報告書)  
(2019年)



「お手本を示してみんなを率いる…」

「リーダーたちが自分の行動を見直して、短い会議のために世界を飛び回るようなことをしない」

「有言実行で、本当の影響力を発揮する」



リーダーが  
率先して行動  
を変える。





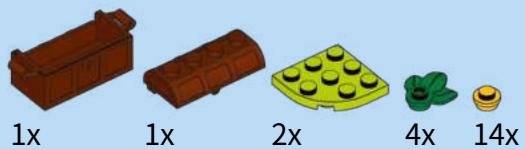
「地球よりもお金を優先するのをやめる」

「気候変動の研究者や、役立つものを発明する人にお金をあげる」

「環境保護にもっとお金と資源を投資する」

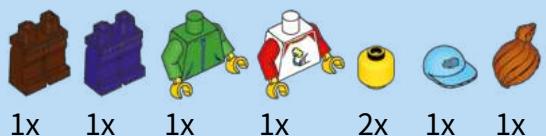


## 環境に投資する。



大気・土壤・水質の汚染、水不足、洪水などの主要な分野への投資によって、世界中の何億人の子どもたちの気候リスクを軽減することができます。

- UNICEF, The Climate Crisis is a Child Rights Crisis  
(気候危機は子どもの権利の危機) (2021年)、p.87～89



「気候変動の影響を受けた環境で暮らす子どもたちの未来の問題に取り組まなければいけない」

「地球のことを心配するなら、わたしたちの未来のことも心配になると思う」

「…助けを必要とする人から目をそむけるのをやめて、お世話はじめなきや」

人を助けて  
次世代を守る。

”

「…気候変動は子どもたちにさまざまな影響を与えるにもかかわらず、気候政策や関連プロセスの設計や内容からは、いつも子どもたちが抜け落ちている」

- UNICEF, The Climate Crisis is a Child Rights Crisis  
(気候危機は子どもの権利の危機) (2021年)、p.96

# 次世代の子どもたち

## 影響を受けるのは…

子どもたちはみな恵まれた幸福な人生を送る権利があるにもかかわらず、気候変動が世界中の何百万人もの子どもたちの基本的人権を脅かしています。

## 遊び心

子どもたちは、遊びの中で体験する探索・実験・挑戦・成功を通じ、身の回りから世界への理解を深めていきます。子どもたちを見習ってみましょう。



## 創造力

子どもたちは想像力と、創造力・問題解決力・革新性・協調性といったスキルが備わっています。それは、気候危機の解決に貢献できるパワーであるにもかかわらず、大人はその力を見逃しがちです。

## 思いやり

子どもたちは、環境に深く関心を持ち、行動に移す意欲を持っています。しかし、大人たちが、お手本を示してくれない、行動できる条件をつくってくれない、自ら率先して正しい行動を示してくれないと感じています。

# Build THE Change

この冊子の地球を守るための組み立て説明書は、“Better World～よりよい世界へ”の組み立て説明書”クリエイティブワークショップに参加した世界中の子どもたちの声と、レゴグループが、世界7カ国の8～18才の子どもたち6,000名を対象に実施したアンケート調査に基づいてまとめられました。

レゴグループでは、子どもたちが遊びを通じて、21世紀に必要なライフスキルを身につけ、幸福に暮らしていくようにする取り組みに努めています。積極的に社会に関与していく力と責任感を持ったグローバルシチズンを育てるには、問題解決力・批判的思考力・協調性・革新性・反復力といったスキルが役立ちます。

# わたしたちの地球

## 温暖化

温室効果ガス濃度は、2020年に新記録を更新し、2010年からの10年間は記録上最も暖かい10年となりました。\*

今すぐ行動を起こさなければ、地球の平均気温が2030年頃に産業革命前に比べて $1.5^{\circ}\text{C}$ 上昇するという予測を上回ってしまう恐れがあります。\*

気温上昇は、食料・水・きれいな空気・住居へのアクセスといった子どもたちの基本的人権をリスクにさらします。\*\*\*

## 食糧不安

2019年には、世界の全人口の約10%が深刻な食糧不安を経験しました。\*

気候変動が、地球上の生息環境や生物多様性を脅かすことで、この数は増え続けることが予想されます。

## 大量絶滅

今の子どもたちは、地球の歴史上、最も速いスピードで大量の絶滅を目にする事になります。\*\*

国連によると、現在、絶滅危惧種は100万種におよぶと言われています。今後約20年間にその多くが姿を消し、生態系のバランスがますます崩れていきます。\*\*

## 出典:

\* 世界気象機関(WMO), The State of the Global Climate (世界の気象現状報告書) (2020年)

\*\* IPBES, Global Assessment Report on Biodiversity and Ecosystem Services(生物多様性と生態系サービスに関する地球規模評価報告書) (2019年)

\*\*\* UNICEF, The Climate Crisis is a Child Rights Crisis(気候危機は子どもの権利の危機) (2021年)

## 異常気象

気温の上昇は、寒波や熱波、洪水、干ばつ、山火事、暴風雨などの異常気象の増加につながります。何百万人もの命が危険にさらされ、子どもたちや家族が住み慣れた家や地域から離れなければならなくなり、社会生活や教育に支障をきたすことになります。\*

## 氷の融解

極地において急速に温暖化が進むことで、極地の動植物の生息地が危険にさらされるだけでなく、地球規模での気候変動や海面上昇をもたらし、全世界で動植物の生息地や地域社会を脅かすことにつながります。\*

## 居住不能地

2010~2019年のあいだに、気候変動が原因となって居住地を退去せざるを得なくなったのは、年間平均で2,310万人にも上りました。その多くが子どもたちです。\*





## レゴグループについて

遊びが持つパワーを通して、世界の明日を創造していく未来の担い手を育成する—それがレゴグループの使命です。レゴ ブロックを基盤とするLEGO®System in Playは、子どもから大人まで誰もが、思い通りにものを作り上げ、好きに形を変えて、また新たなものを作り上げられる遊びツールです。

レゴグループは、1932年、デンマークのビルンで誕生しました。創立者は、オーレ・キアク・クリスチャンセン。レゴという名は、デンマーク語で「よく遊べ」を意味するLEg GOdtに由来しています。現在も引き続きビルンを本部として家族経営を続けており、未来の世代のためにより良い地球環境を築くことに努めています。

# Build the Changeの楽しみ方

Build the Change は、レゴ グループが推進するサステナビリティ教育プログラムです。

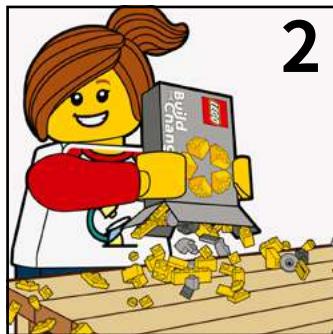
一見シンプルですが、効果が高く、10年以上にわたって世界中の子どもたちが体験してきています。

Build the Change プログラムでは、子どもたちにサステナビリティに関するテーマを探求する場や、現実世界で起こっている環境問題や社会問題に対するソリューションを遊び感覚で見つけ出す場を提供しています。

参加した子どもたちのアイデアを、未来をつくり出す意思決定者たちの目に触れるよう、世に送り出すこと。それが私たちの約束です。



1.現実の世界で起こっているサステナビリティ課題を学ぶ。



2.準備をする…



3.さあ、解決策を生み出そう!



4.アイデアをシェアしよう。

# 遊びながら学ぶということ

レゴグループとLEGO Foundation（レゴ財団）では、「遊びながら学ぶ」ことを世界に広める取り組みに努めています。

子どもたちが、他の人々といっしょに有意義で楽しい体験をしたり、いろいろなことを試してみたりすることに積極的に参加できる場をあたえる、Build the Changeといったハンズオン学習体験から、「遊び」を考え直し、「学習」を見直していくことをを目指します。

世界中のより多くの子どもたちが、豊かな創造性を持ち、意欲的で、生涯にわたって学び続け、人としての総合的な成長に役立つ幅広いスキルを身につけていくことが私たちのゴールです。



# サステナビリティへの取り組み

レゴグループは、持続可能な未来を築き、子どもたちが受け継ぐ未来をより明るいものにする責任を果たしています。

子どもたちをはじめ、保護者・教育関係者の方々、レゴ社員やパートナーたち、チャリティ団体や専門家などと力を合わせ、今の子どもたちがよりよい未来を築いていくことができるよう、長期的な影響とインスピレーションをあたえる努力をしています。

Build the Changeといった教育プログラムでは、子どもたちが、将来グローバルシチズンとして、

気候変動の影響への取り組みや循環経済への移行など、数多くの課題に取り組む力を備えられるよう、さまざまなライフスキルの習得を支援します。

同時に、環境負荷の低減、廃棄物の削減、商品やパッケージに使用するサステナブルな新素材開発などにも取り組んでいます。2020年12月、レゴグループは、大手玩具メーカーの先駆けとして、科学に基づいたCO<sub>2</sub>削減目標を掲げる企業となりました。



# たくさんの子どもたちのアイデア…

たくさんの子どもたちのアイデア…

10の組み立て説明書に与えられた課題は…ひとつ…

今すぐ…行動すること。

明日を築く子どもたちがつくった「Better World～よりよい世界へ」の組み立て説明書から、たくさんのアイデアやインスピレーションが生まれることを願っています。

わたしたち大人には、子どもたちの心配事、考え、希望にもっと耳を傾ける責任があります。子どもたちを、有意義なかたちで意思決定に参加させる努力をしなければなりません。今すぐ、誠実に実質的な行動を起こすことで、子どもたちのアイデアを大切にしていることを示しましょう。子どもたちの影響力をもっと目に見えるかたちに。子どもたちが願う変化を、子どもたちの手で実現できるように。

地球の未来にとって、最も大切なステークホルダーは子どもたちなのですから。未来は子どもたちのもの。子どもたちこそ、未来づくりに関わる必要があるのです。

ご精読ありがとうございます。

レゴ グループ

世界の子どもたちを代表して。



**Build  
THE Change**